

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場	
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 45,442人(前年度比 120.2%) 令和3年度 37,802人 令和2年度 34,361人	
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 75,068千円(70,902千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、保護者会をはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>■ コロナ禍が長引き児童館利用の諸制限は続いたが乳幼児母子の利用は増えており、土曜日は家族で来館するようになった。自由来館児童は未だ少ないものの毎日利用する児童もおり、中学生が立ち寄りたり、土曜日は乳幼児親子と小学生と一緒に遊んだりする光景が戻ってきた。</p> <p>■ 出会いと体験の機会となる行事は「コロナ禍でもやり方を工夫して実施する」意識をもって前年度に比べ形にできた。乳幼児を子育て中のママ向け「ママココフェスティバル」や乳幼児向けと小学生向け「ハロウィンパレード」は立ち寄る場所や参加親子へのノベルティが増え、行事を心待ちにしている来館者と地域の思いを感じた。小学生向けには学年毎の行事を企画したが、定員を超える応募があった。クラーク高校生によるドローンプログラミングをはじめ地域の人材を講師に迎え世代間交流が出来、5・6年生行事では石巻子どもセンター「らいつ」を訪問し双方の子ども交流が実現した。子どもスタッフ会が立ち上がり、1月に「みんなのつつフェス」を企画実行、3月には榴岡公園活性化のための「榴岡の地から」にブース出展、子どもの参画力が高まったといえる。中学生の思いを形にできなかったことが次年度の課題である。</p> <p>■ 乳幼児親子向け定例会と民児協共催のつつじサロンを概ね毎月実施できが、年間を通して職員と担当保健師の寄り添い、ママ同士のおしゃべりタイムは不可欠であった。</p> <p>■ 児童クラブは304名6単位で開始した。利用率が高く3密回避には困難を要したが、子ども同士の育ち合いは子ども集会やルール決め等で発揮され、坪沼エリアでの郊外WSでは達成感を味わい各自の自信につながった。保護者会の協力も大きかった。</p> <p>■ 地域公開セミナーを榴岡小PTA・学校支援地域本部の三者共催で再開。これをきっかけに榴岡小校長を加えた四者定例会議が毎月開催される事となり相互共有が一気に進んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、新たに「子どもスタッフ会」を立ち上げ、子ども達が主体的に行事の計画立案から実行までを行った。「みんなのつつフェス」を4回に分けて実施するなど、感染対策を講じながら内容の充実に工夫を凝らして実施した。子どもたちが互いに補い、協力しながら目標達成に向けて半年間活動したことは達成感を味わうだけでなく、協調性や社会性など多くの学びを得る貴重な経験となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、栄養士による講和や救急救命講習等、多彩な内容で「つつじがおかサロン」を実施した。サロンには民生委員や児童委員、区の保健師も参加しており、参加者に地域の子育てについて相談ができる機関とつながる機会を提供している点が評価できる。</p> <p>地域交流推進事業においては、多くの関係団体と協力体制を築いている。それらのネットワークを活用して、地域の商店街等の協力を得てハロウィンパレードを実施したり、地域公開セミナーを学校PTA、学校支援地域本部と共同で実施するなど、多彩な行事や体験活動等を提供している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子ども集会を実施し子どもたちが意見を述べ合い、遊びやルールを決めるなど主体的に活動できる場を設けている。また、保護者のニーズをとらえ保護者懇談会のクラスや学年毎に実施するなど保護者への支援にも取り組んでいる。館外ワークショップ「そあとの庭」を通して日常生活では体験できない自然活動の場を提供し、子ども達の豊かな情操を育んだ。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課